

茨城西南地方広域市町村圏事務組合が発注する週休2日制促進工事の実施要領

令和6年2月27日決裁

(目的)

第1条 この要領は、建設業界における担い手確保のための取組みの一環として、令和6年4月からの時間外労働の上限規制を踏まえ、休暇の拡大を促進するために実施する週休2日制促進工事（以下「週休2日制促進工事」という。）の発注等をするため、必要な事項を定めるものである。

(用語の定義)

第2条 週休2日制とは、第3条に規定する完全週休2日制の形式により施工することをいう。

2 現場閉所日とは、予め定めた現場の休工日のことをいい、予定外の休工日は含めない。

3 現場とは、工事目的物を設置する現場のことをいい、工場製作としての現場は含めない。

4 休工日とは、通行規制に伴う交通誘導作業や現場の安全確認のための見回り等現場管理に必要な作業を除き、下請け企業等も含め終日一切の現場作業（現場事務所での事務作業を含む）を行わない日のことをいう。

5 経費補正等基準とは、週休2日制での施工を設計図書に位置付けて施工する場合に適用する積算基準（各種経費の補正基準）のことをいう。

(形式)

第3条 形式は、次のとおりとする。

完全週休2日制

(1) 対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間とする。ただし、工場製作のみの期間、工事全体を一時中止とした期間、夏季休暇及び年末年始休暇期間は除く。

(2) 現場閉所対象日

対象期間における全ての土曜日及び日曜日とする。

なお、受注者の都合により、土曜日又は日曜日に工事等を行おうとする場合、事前に監督員と協議のうえ振替現場閉所日を設定することとする。振替現場閉所日は、同一週内において設けることを原則とするが、土曜日の振替現場閉所日は翌週内に設けることも可とする。

(週休2日制促進工事の対象)

第4条 週休2日制促進工事は、次の各号のいずれかに該当する工事を対象外としたうえで、管理者が選定する。

(1) 予定価格が2,000万円未満の工事

(2) 現場作業を行う期間が1ヶ月未満となることが想定される工事

(3) 緊急対応のための工事

- (4) 工程や完成時期に制約のある工事
- (5) 経費補正等基準が定められていない工事
- (6) 事業等の性質上、週休2日制での施工に伴う工事費の増が認められていない工事
(災害復旧工事等)
- (7) その他、週休2日促進工事に適さないと管理者が判断する工事
(週休2日促進工事の発注方式)

第5条 週休2日促進工事は、次の各号のいずれかの方式により発注することとするが、当面の間、(1)の方式でのみ発注することとする。

(1) 発注者指定型

- ア 発注に際しては、特記仕様書等に発注者指定型である旨明示することとする。
- イ 発注時の予定価格算定にあたっては、別に定める経費補正等基準により経費補正等を行うこととする。

(2) 受注者希望型

- ア 発注に際しては、特記仕様書等に受注者希望型である旨明示することとする。
- イ 受発注者協議により週休2日制での施工が決定した場合は、別に定める経費補正等基準により、設計変更することとする。

(実施工程の作成)

第6条 発注者指定型の週休2日促進工事受注者、受注者希望型の週休2日促進工事受注者のうち受発注者協議により週休2日制での施工が決定した受注者(以下「受注者」という。)は、工事着手までに、週休2日制で施工するための実施工程を立て、監督員と協議することとする。

(工期の延長)

第7条 第6条に基づき実施工程を定めた結果、契約工期内に工事を完成できないことが判明した場合、受注者は、建設工事請負契約書の規定による工期の延長変更を請求することができる。

(受注者の取組事項)

第8条 受注者は、週休2日制による施工について、下請け企業等の理解を得たうえで実施することとし、別紙様式1により作成した関係者確認書の写しを工事着手日までに監督員に提出することとする。

2 一般土木工事の受注者は、土木工事保安対策技術指針に基づき設置する標示板(工事中看板)及び工事説明看板に、週休2日制で施工することを標示することとする。

3 営繕工事の受注者は、工事現場の見やすい位置に、週休2日制で施工することを標示する掲示板(看板)を設置することとする。

4 受注者は、適宜、次の各号に掲げる書類等を監督員に対し提示し、現場閉所の実績について確認を受けることとする(工事完成届の提出までに、全ての現場閉所実績について確認)。

- (1) 工事現場の労働者の勤務状況がわかる書類(月間・週間工程表、作業日報等)

(2) 下請け企業等の労働者の場合は、当該工事における当該下請け企業の作業期間及び内容等がわかる書類（作業日報等）

（発注者の配慮）

第9条 発注者は、受注者が週休2日制による工事を円滑に実施できるよう、次の各号に配慮することとする。

(1) 第6条で定める実施工程による工事実施を妨げるような指示等を行わないこと。

(2) 第7条で定める受注者からの工期の延長変更の請求に対して柔軟に対応すること。

(3) 受注者からの協議等にはできる限り速やかに対応すること。

（工事成績評定等）

第10条 週休2日促進工事を通じ実施された休暇拡大に向けた受注者の取組について、工事完成検査時において評価することとする。

2 週休2日促進工事のうち、発注者指定型の受注者が、設計図書に基づく週休2日制による施工に取組む意思が見られない場合、契約条件違反として取り扱う。

3 週休2日促進工事のうち、受注者希望型の受注者が、受発注者協議により週休2日制で施工するとしたにも関わらず、週休2日制による施工に取組む意思が見られない場合、契約条件違反として取り扱う。

（履行実績取組証の発行）

第11条 受注者が設計図書に基づき取組を実施し、現場閉所率75.0%以上で工事を完成させた場合、発注者は、工事完成検査結果通知時に別紙様式2により受注者に対し履行実績取組証を発行するものとする。

2 茨城西南地方広域市町村圏事務組合発注工事においては、前号によらず、工事を担当（監督）した工事主管課の長が発行するものとする。

3 現場閉所日確保率が75.0%未満となった場合、履行実績取組証は発行しないものとする。

付 則

この要領は、令和6年3月1日以降に入札公告等をする工事から適用する。

週休２日制促進工事における労務費の経費補正対象職種

単価名称	単位	週休補正対象	備考
特殊作業員	人	○	
普通作業員	人	○	
軽作業員	人	○	
造園工	人	○	
法面工	人	○	
とび工	人	○	
石工	人	○	
ブロック工	人	○	
鉄筋工	人	○	
鉄骨工	人	○	
塗装工	人	○	
溶接工	人	○	
特殊運転手	人	○	
一般運転手	人	○	
潜かん工	人	○	
潜かん世話役	人	○	
さく岩工	人	○	
トンネル特殊工	人	○	
トンネル作業員	人	○	
トンネル世話役	人	○	
橋梁特殊工	人	○	
橋梁塗装工	人	○	現場塗装の場合
	人	×	工場塗装の場合
橋梁世話役	人	○	
土木一般世話役	人	○	
高級船員	人	○	
普通船員	人	○	
潜水士	人	○	
潜水連絡員	人	○	
潜水送気員	人	○	
山林砂防工	人	○	
軌道工	人	○	
型枠工	人	○	
大工	人	○	
左官	人	○	
配管工	人	○	
はつり工	人	○	
防水工	人	○	
板金工	人	○	
タイル工	人	○	
サッシ工	人	○	
内装工	人	○	

週休２日制促進工事における労務費の経費補正対象職種

単価名称	単位	週休補正対象	備考
ガラス工	人	○	
建具工	人	○	
ダクト工	人	○	
保温工	人	○	
建築ブロック工	人	○	
電工	人	○	
設備機械工	人	○	
理事・技師長	人	×	
主任技師	人	×	
技師(A)	人	×	
技師(B)	人	×	
技師(C)	人	×	
技術員	人	×	
主任技術者	人	×	
地質調査技師	人	×	
主任地質調査員	人	×	
地質調査員	人	×	
測量主任技師	人	×	
測量技師	人	×	
測量技師補	人	×	
測量助手	人	×	
操縦士	人	×	
整備士	人	×	
撮影士	人	×	
撮影助手	人	×	
測量補助員	人	×	
測量船操縦士	人	×	
交通誘導警備員A	人	○	
交通誘導警備員B	人	○	
屋根ふき工	人	○	単価設定なし

【完全週休 2 日制の場合】現場閉所日確保率の計算例

12 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 工事着手	4 工事	5 工事	6 雨天休工	7 工事	8 現場閉所 ◎ ●
9 現場閉所 ◎ ●	10 工事	11 工事	12 工事	13 工事	14 工事	15 現場閉所 ◎ ●
16 現場閉所 ◎ ●	17 工事	18 工事	19 雨天休工	20 工事	21 工事	22 現場閉所 ◎ ●
23 現場閉所 ◎ ●	24 工事	25 工事	26 工事	27 工事	28 工事	29 年末年始休暇
30 年末年始休暇	31 年末年始休暇					

1 月

日	月	火	水	木	金	土
		1 年末年始休暇	2 年末年始休暇	3 年末年始休暇	4 年末年始休暇	5 年末年始休暇
6 年末年始休暇	7 工事	8 工事	9 工事	10 雨天休工	11 工事	12 現場閉所 ◎ ●
13 工事 ●	14 工事	15 工事	16 工事	17 工事	18 振替閉所 ◎	19 現場閉所 ◎ ●
20 現場閉所 ◎ ●	21 工事	22 工事	23 工事	24 工事	25 工事完成	26
27	28	29	30 完成検査	31		

◎：現場閉所できた日

10 日

●：工事着手から工事完成までの土・日の総日数

10 日



100%確保